

講義名	経済特別演習 (3年生のみ)			授業形態	
担当教員	中島 孝子 / 羽森 直子		開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2 時限	
			単位数	2	履修開始年次
			ナンバリング・コード	ESM341	

主題と概要

この授業は、ファイナンシャルプランナー3級やニュース時事能力検定などの試験内容の学習や、問題演習を通じて、経済を中心とした現代社会について理解を深め、応用力を身に付けることを目的とする。本授業は、資格取得や大学院進学を目指す学生の履修を想定し、少人数での演習形式で行う。高いモチベーションを維持しながら試験対策を継続できるように、資格取得や大学院進学を目指す学生に力をつけていく。

また、経済特別演習 は、後期開講の「経済特別演習 」に続くことを前提に授業を進める。

到達目標

制度を含む現代経済社会の知識を習得し、それを資格試験等、次の学習ステップにつなげられるようになる。

提出課題

授業内で問題演習を行う。
また、口頭発表やレポート課題がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内で、全体または個別に解答・解説を行う予定である。

評価の基準

平常点：受講態度（積極性など）と課題（口頭発表を含む）：50%
期末試験（筆記）または課題レポート：50% 第1回の授業で詳細を説明する。
上記の割合で成績評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

本演習はあくまで、資格取得や大学院進学、企業の調査・研究部門への就職などを旨とする。高い意欲を持つ人達のモチベーション維持とサポートを目的としています。本演習で扱う内容は特定の資格や進路に限定していません。また、資格取得や大学院進学の際、本演習内容だけでは勉強量が足りていないと考えるかもしれません。資格取得や進路先用の勉強は、自分で授業時間外にも行う必要があります。

少人数科目のため定員制限があります。希望者が多い場合、提出書類や面接で選考します。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

演習問題やレジュメなど、資料を適宜配布する。

授業計画

- 第1回 イントロダクション
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(240分)
- 第2回 資格FP3級の紹介
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第3回 ライフプランニング
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第4回 資金計画を立てるさいの6つの係数
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第5回 ライフプラン策定上の資金計画
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第6回 住宅ローン金利と返済方法
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第7回 社会保険の全体像
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第8回 社会保険―国民健康保険など
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第9回 社会保険―雇用保険など
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第10回 保険料の納付
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第11回 公的年金の基礎
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第12回 公的年金の特別支給等
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第13回 厚生年金
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第14回 企業年金
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第15回 まとめ
予習内容： これまでの授業内容を講義資料をもちいて振り返る。(150分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経済を中心とした現代社会の知識を定着させることで、社会的にみて望ましい、個人の行動、企業の行動、政府の行動をより厳密に考えることが可能となる。これにより、ディプロマポリシーの「人間、社会に関するこれまでの学問成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題について、幅広い視点から考察し課題を提案することができるようになる」に到達できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

クリックシステム（レスポンスやキャンバスクロス）をアンケートや課題の提出に利用する。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考